

令和 4 年 6 月 13 日現在

機関番号：12701

研究種目：基盤研究(B) (特設分野研究)

研究期間：2017～2021

課題番号：17KT0032

研究課題名(和文) アジア統合下の競争、成長、環境の経済分析：グローバル産業連関表の応用と拡張

研究課題名(英文) Economic Analysis of Competition, Growth, Environment in Asian Integration: Application and Extension of Global Input-Output Tables

研究代表者

佐藤 清隆 (Sato, Kiyotaka)

横浜国立大学・大学院国際社会科学研究院・教授

研究者番号：30311319

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題は、独自に構築した国際産業連関表(YNU-GIO Table)を更新・拡張し、アジア統合下での「競争」「成長」「環境」に関する実証的研究を行った。研究成果を査読付き国際学術雑誌に掲載するだけでなく、YNU-GIO Tableの拡張として、脱炭素政策の経済波及効果の分析を目的として、「実質国際産業連関表」構築に取り組んだ。内生国の産業別物価データを収集して「実質国際産業連関表」の構築作業を進め、21年度末の時点で完成直前の段階に達した。同データベースは22年度中にウェブ公開する予定である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究が構築に取り組んだ「実質国際産業連関表」は、脱炭素政策が貿易と生産を通じて世界各国にどのように波及するのか、その効果を実証的に分析するために必要なデータベースである。現在、世界で使われている国際産業連関表は「名目」ベースのデータである。本研究は「実質」ベースの国際産業連関表を他に先駆けて構築し、ウェブ上で無料公開することで、日本と海外諸国にとって喫緊の課題である「脱炭素政策の及ぼす経済的な影響」を定量的に分析することが可能となる。

研究成果の概要(英文)：This research updated and developed the unique database of Global Input-Output (GIO) Table, and empirically examined the issues of "competition", "growth", and "environment" in Asian integration process. In addition to publishing the research papers in refereed journals, we attempted to construct the "real" GIO Table, which is a novel contribution to the field of international economics, especially to an empirical analysis of the effect of decarbonization. We almost completed the construction of the real GIO Table at the end of 2021 fiscal year and plan to publish the database in 2022.

研究分野：国際金融

キーワード：国際産業連関表 アジア経済統合 カーボンリーケージ 輸出競争力 国際価値連鎖 為替レート

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

アジアでは各国の様々な政治的利害の衝突にもかかわらず、活発な貿易・投資を通じて着実に経済統合が進んでいる。ただし、アジア経済統合は域内経済取引のみによって完結しない。アジア域内の貿易・投資を牽引するのは日本や欧米諸国の多国籍企業であり、アジア諸国は北米市場と欧州市場への輸出に大きく依存している。グローバルな視点からのアジア経済統合分析が不可欠である。

近年の経済統合に関する実証研究においては、国際産業連関表を用いて、国際的な生産連鎖の分析が行われている。2013年に世界40か国をカバーする「World Input-Output Database (WIOD)」が公表されてから、国際経済学の分野で国際産業連関表の利用が急速に広がってきた。またOECDが世界66か国をカバーする国際産業連関表 (Inter-Country Input-Output (ICIO) Tables) の公表を開始するなど、経済統合の分析に用いるデータが格段に充実してきた。

横浜国立大学経済学部附属アジア経済社会研究センターは、2014年よりアジアの主要11か国を含む独自の国際産業連関表 (YNU-Global Input-Output Table: YNU-GIO) をウェブ上で構築・公開している (<http://www.econ.ynu.ac.jp/cessa/>)。同データの最大の特徴は、35産業部門、内生国29か国、外生国60か国を広範にカバーし、1997年～2012年までの毎年の国際産業連関表 (年次データ) を構築している点にある。本研究課題はこのYNU-GIO Tableを更新・拡張しながら、以下で述べるように、アジア統合下での競争、成長、環境の経済分析を行うことを目的としている。

## 2. 研究の目的

### 【課題1】為替レートが貿易（競争力）に及ぼす影響

為替レートの変動が貿易に負の影響を及ぼすことは広く知られている。近年、国際価値連鎖の中では為替レート変動が貿易に及ぼす負の影響が低下する可能性が指摘されている。本研究は国際産業連関表を用いて、国際価値連鎖の進展が為替レートの影響 (アジア諸国の輸出競争力) に及ぼす影響を分析する。

### 【課題2】アジア諸国の為替政策がアジア諸国の経済成長に及ぼす影響

国際産業連関表を用いて均衡為替レートを推計する新しい手法の開発に取り組み、推計した均衡為替レートと実際の為替レートの乖離がアジア各国の経済成長に及ぼす影響を分析する。

### 【課題3】貿易の拡大が環境に及ぼす影響

先行研究では、貿易の拡大が環境 (Environment Quality) に及ぼす影響が分析されている。国際産業連関表のデータと国連が公表している環境変数のデータを使用して、アジア経済統合を促進してきた域内貿易の拡大が、アジアの環境変数にどのような影響を及ぼしているかを分析する。

### 【課題4】アジア経済統合とカーボンリーケージ

カーボンリーケージ (貿易品に含まれる温暖化ガス(CO<sub>2</sub>)の輸入国から輸出国への移転) は地球温暖化問題に関する先進国と途上国との対立の原因の一つである。本研究は国際エネルギー機関 (IEA) の公表する汚染物質排出量のデータとYNU-GIO Tableを統合し、新しいデータベースに基づいて、経済統合が域内の環境に及ぼす影響を数量的に実証する。

## 3. 研究の方法

本研究は国際産業連関表を用いた実証分析を行うが、WIODやOECDのICIO Tablesを利用するだけでなく、独自に構築したYNU-GIO Tableをさらに拡張する。特に環境分析やカーボンリーケージの分析を行うために必要な「実質国際産業連関表」を構築する。これはWIODやOECDにはない、本研究独自の貢献となりうる。

本研究は、研究代表者と研究分担者、そして研究協力者が共同で研究を進めるが、各自が海外の研究者とも共同研究を行う。国際シンポジウムを開催して成果を発表するだけにとどまらず、その成果を学術論文や研究書として公表することを最終的な目標とする。また、各自は積極的に国内外の学会で研究成果を発表し、最終的には国内外の査読付学術雑誌に論文を掲載することを目指す。

#### 4. 研究成果

学術論文(11件)、書籍(2件)、学会発表(18件)については「5. 主な発表論文等」に記載したとおりである。それ以外の国際共同研究の成果として、下記の7件の国際シンポジウムを開催した。

1. 2017年12月1日に中国社会科学院(CASS)世界経済研究所(IWEP)、経済産業研究所(RIETI)、横浜国立大学経済学部附属アジア経済社会研究センター(CESSA)の共催による国際ワークショップ(RIETI-IWEP-CESSA Joint Workshop: Issues over Currency and Exchange Rate: Empirical Studies on China and Japan)を開催した(RIETI, 東京)。
2. 2018年12月1日に経済産業研究所(RIETI)、中国社会科学院(CASS)世界経済研究所(IWEP)、横浜国立大学経済学部附属アジア経済社会研究センター(CESSA)の共催による国際ワークショップを(RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop on Topics on International Finance: Exchange Rate and Currency, December 1, Chinese Academy of Social Sciences (CASS), Beijing, China)を開催した(中国社会科学院、北京)。
3. 2018年12月7日~8日にEdith Cowan University (Australia), KU Leuven (Belgium), Ningbo University (China), 横浜国立大学経済学部附属アジア経済社会研究センター(CESSA)の共催による国際コンファレンス(The 4th International Conference on China's Rise and Internationalization: Challenges and Impacts Regionally and Globally, December 7-8, NOVOTEL Hotel, Ningbo, China)を開催した。
4. 2019年12月13日にAix-Marseille University(仏)と横浜国立大学経済学部附属アジア経済社会研究センター(CESSA)による国際共同ワークショップ「YNU-AMSE Joint Workshop」を開催した。同ワークショップにおいて、実質国際産業連関表に基づく論文(“Transmission of Trade Shocks in Asia: Does Price Really Matter?”)を発表した。
5. 2019年12月18日に経済産業研究所(RIETI)、中国社会科学院(CASS)世界経済研究所(IWEP)、横浜国立大学経済学部附属アジア経済社会研究センター(CESSA)の共催で、世界経済をめぐる諸課題に関する国際ワークショップ(RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop on “Current Issues in the World Economy: Exchange Rate, Invoice Currency, Price Transmission and Localization”)を開催した(RIETI, 東京)。
6. 2020年12月6日に経済産業研究所(RIETI)、中国社会科学院(CASS)世界経済研究所(IWEP)、横浜国立大学経済学部附属アジア経済社会研究センター(CESSA)の共催で、為替レートと国際通貨に関する国際ワークショップ(RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop on “Exchange Rate and International Currency”)をオンライン開催した。
7. 2022年1月17日に経済産業研究所(RIETI)、中国社会科学院(CASS)世界経済研究所(IWEP)、横浜国立大学経済学部附属アジア経済社会研究センター(CESSA)の共催で、為替レート、通貨、貿易に関する国際ワークショップ(RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop on “Exchange Rate, Currency and Trade”)をオンライン開催した。

本研究期間中に、査読付国際学術雑誌(*North American Journal of Economics and Finance*)の特集号を2点発表した。そのうちの一点(November 2020)は、2018年12月にEdith Cowan Universityなどと共同開催した国際コンファレンスでの発表論文を中心としたものである。

8. *North American Journal of Economics and Finance*, 46 (November 2018; Impact Factor 1.199), Special Section on “China's Rise and Financial Market Integration in East Asia: Issues and Prospects,” Guest Editors: Donald Lien, [Kiyotaka Sato](#) and Zhaoyong Zhang.
9. *North American Journal of Economics and Finance*, 54 (November 2020; Impact Factor 2.772), Special Section on “RMB Internationalization and Global Financial Markets Integration,” Guest Editor: Donald Lien and Zhaoyong Zhang.

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 11件／うち国際共著 4件／うちオープンアクセス 0件）

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1. 著者名<br>Luu Dang Hai、Parsons Craig R.   | 4. 巻<br>36                  |
| 2. 論文標題<br>Non tariff measures and Vietnam's export performance   | 5. 発行年<br>2022年             |
| 3. 雑誌名<br>Asian-Pacific Economic Literature   | 6. 最初と最後の頁<br>88～104        |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.1111/apel.12350   | 査読の有無<br>有                  |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-                   |
| 1. 著者名<br>Shrestha Nagendra、Sato Kiyotaka   | 4. 巻<br>10                  |
| 2. 論文標題<br>Global and regional shock transmission: an Asian perspective   | 5. 発行年<br>2021年             |
| 3. 雑誌名<br>Journal of Economic Structures  | 6. 最初と最後の頁<br>1～25          |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.1186/s40008-021-00257-1   | 査読の有無<br>有                  |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-                   |
| 1. 著者名<br>Kawasaki Kentaro、Sato Kiyotaka  | 4. 巻<br>60                  |
| 2. 論文標題<br>A new assessment of economic integration in East Asia: Application of an industry-specific G-PPP model   | 5. 発行年<br>2021年             |
| 3. 雑誌名<br>Japan and the World Economy   | 6. 最初と最後の頁<br>101105～101105 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.1016/j.japwor.2021.101105   | 査読の有無<br>有                  |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-                   |
| 1. 著者名<br>Montfaucon Angella Faith、Sato Kiyotaka、Shrestha Nagendra、Parsons Craig  | 4. 巻<br>72                  |
| 2. 論文標題<br>Exchange rate pass-through and invoicing currency choice between fixed and floating exchange rate regimes: Evidence from Malawi's transaction-level data | 5. 発行年<br>2021年             |
| 3. 雑誌名<br>Economic Analysis and Policy  | 6. 最初と最後の頁<br>562～577       |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.1016/j.eap.2021.09.006  | 査読の有無<br>有                  |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>該当する                |

|  |                               |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名<br>Sato Kiyotaka, Shimizu Junko, Shrestha Nagendra, Zhang Shajuan   | 4. 巻<br>54                    |
| 2. 論文標題<br>New empirical assessment of export price competitiveness: Industry-specific real effective exchange rates in Asia | 5. 発行年<br>2020年               |
| 3. 雑誌名<br>The North American Journal of Economics and Finance  | 6. 最初と最後の頁<br>101262 ~ 101262 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.najef.2020.101262  | 査読の有無<br>有                    |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-                     |

|   |                           |
|---|---------------------------|
| 1. 著者名<br>Nguyen Thi-Ngoc Anh, Sato Kiyotaka                                      | 4. 巻<br>52                |
| 2. 論文標題<br>Invoice currency choice, nonlinearities and exchange rate pass-through | 5. 発行年<br>2019年           |
| 3. 雑誌名<br>Applied Economics   | 6. 最初と最後の頁<br>1048 ~ 1069 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1080/00036846.2019.1650884                         | 査読の有無<br>有                |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>該当する              |

|  |                               |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名<br>Nguyen Thi-Ngoc Anh, Sato Kiyotaka                                     | 4. 巻<br>53                    |
| 2. 論文標題<br>Firm predicted exchange rates and nonlinearities in pricing-to-market | 5. 発行年<br>2019年               |
| 3. 雑誌名<br>Journal of the Japanese and International Economies                    | 6. 最初と最後の頁<br>101035 ~ 101035 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.jjie.2019.101035                           | 査読の有無<br>有                    |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>該当する                  |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Ong Sheue Li, Sato Kiyotaka  | 4. 巻<br>46              |
| 2. 論文標題<br>Regional or global shock? A global VAR analysis of Asian economic and financial integration | 5. 発行年<br>2018年         |
| 3. 雑誌名<br>The North American Journal of Economics and Finance  | 6. 最初と最後の頁<br>232 ~ 248 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.najef.2018.04.009  | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>該当する            |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Sato Kiyotaka, Shimizu Junko   | 4. 巻<br>46              |
| 2. 論文標題<br>International use of the renminbi for invoice currency and exchange risk management: Evidence from the Japanese firm-level data | 5. 発行年<br>2018年         |
| 3. 雑誌名<br>The North American Journal of Economics and Finance  | 6. 最初と最後の頁<br>286 ~ 301 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.najef.2018.04.013  | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-               |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Shimizu Junko, Sato Kiyotaka                                     | 4. 巻<br>6             |
| 2. 論文標題<br>A currency basket and future exchange rate arrangements in Asia | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>Economic and Political Studies                                   | 6. 最初と最後の頁<br>53 ~ 68 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1080/20954816.2018.1426360                  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                     | 国際共著<br>-             |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>Mutsvangwa Simba, Parsons Craig R., Shrestha Nagendra        | 4. 巻<br>in press     |
| 2. 論文標題<br>Japan's trade agreements aren't "window dressing" after all | 5. 発行年<br>2018年      |
| 3. 雑誌名<br>The International Trade Journal                              | 6. 最初と最後の頁<br>1 ~ 21 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1080/08853908.2018.1448311              | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                 | 国際共著<br>-            |

〔学会発表〕 計18件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 11件)

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Shrestha, Nagendra and Kiyotaka Sato                            |
| 2. 発表標題<br>Transmission of Trade Shocks in Asia: Does Price Really Matter? |
| 3. 学会等名<br>Singapore Economic Review Conference 2019 (国際学会)                |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Kawasaki, Kentaro and Kiyotaka Sato  |
| 2. 発表標題<br>Adopting the Industry-Specific G-PPP Model into the Major Manufacturing Sectors in East Asia |
| 3. 学会等名<br>Singapore Economic Review Conference 2019 (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Keddad, Benjamin and Kiyotaka Sato  |
| 2. 発表標題<br>Pegging or Floating against International Currencies? A Markov-Switching Perspective of Asian Exchange Rate Practices |
| 3. 学会等名<br>Singapore Economic Review Conference 2019 (国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Sato, Kiyotaka, Junko Shimizu and Uraku Yoshimoto     |
| 2. 発表標題<br>Exchange Rate Pass-Through and Export Competitiveness |
| 3. 学会等名<br>日本金融学会2018年度春季大会                                      |
| 4. 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤隆敏・鯉淵賢・佐藤清隆・清水順子   |
| 2. 発表標題<br>日本企業の為替リスク管理とインボイス通貨選択：「2017年度日本企業の貿易建値通貨の選択に関するアンケート調査」結果 |
| 3. 学会等名<br>日本金融学会2018年度秋季大会   |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Lapukeni, Angella Faith and Kiyotaka Sato  |
| 2. 発表標題<br>Invoice Currency Choice in Malawi 's Imports from Asia: Any Evidence of Renminbi Internationalization?   |
| 3. 学会等名<br>JSPS EU-Japan Joint Workshop on Post-GFC (Global Financial Crisis) Integration in East Asia and Europe, Aix-Marseille School of Economics (AMSE), Aix-Marseille University |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Keddad, Benjamin and Kiyotaka Sato   |
| 2. 発表標題<br>New Assessment of Asian Exchange Rate Policies: Application of the Markov-Switching Frankel-Wei Model  |
| 3. 学会等名<br>JSPS EU-Japan Joint Workshop on Post-GFC (Global Financial Crisis) Integration in East Asia and Europe, Aix-Marseille School of Economics (AMSE), Aix-Marseille University |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Ong, Sheue Li, Kiyotaka Sato and Zhaoyong Zhang   |
| 2. 発表標題<br>Uncertainty Effects of Chinese Renminbi on Asian Exchange Rate and Stock Return: A Bivariate GARCH-in-Mean VAR Analysis |
| 3. 学会等名<br>16th International Convention of the East Asian Economic Association ( 国際学会 )   |
| 4. 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Lapukeni, Angella Faith and Kiyotaka Sato  |
| 2. 発表標題<br>Invoice Currency Choice in Malawi 's Imports from Asia: Any Evidence of Renminbi Internationalization? |
| 3. 学会等名<br>16th International Convention of the East Asian Economic Association ( 国際学会 )                          |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|   |
|---|
| 1 . 発表者名<br>Keddad, Benjamin and Kiyotaka Sato  |
| 2 . 発表標題<br>New Assessment of Asian Exchange Rate Policies: Application of the Markov-Switching Frankel-Wei Model |
| 3 . 学会等名<br>16th International Convention of the East Asian Economic Association ( 国際学会 )                         |
| 4 . 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1 . 発表者名<br>Sato, Kiyotaka and Nagendra Shrestha  |
| 2 . 発表標題<br>Transmission of Trade Shocks: Does Price Really Matter?                       |
| 3 . 学会等名<br>16th International Convention of the East Asian Economic Association ( 国際学会 ) |
| 4 . 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1 . 発表者名<br>Sato, Kiyotaka and Uraku Yoshimoto  |
| 2 . 発表標題<br>Invoicing Currency Choice and Export Competitiveness: New Evidence from Japanese Export Firms |
| 3 . 学会等名<br>16th International Convention of the East Asian Economic Association ( 国際学会 )                 |
| 4 . 発表年<br>2018年  |

|  |
|--|
| 1 . 発表者名<br>Sato, Kiyotaka and Uraku Yoshimoto   |
| 2 . 発表標題<br>Invoicing Currency Choice and Export Competitiveness: New Evidence from Japanese Export Firms  |
| 3 . 学会等名<br>RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop on Topics on International Finance: Exchange Rate and Currency |
| 4 . 発表年<br>2018年   |

|   |
|---|
| 1 . 発表者名<br>Lapukeni, Angella Faith and Kiyotaka Sato   |
| 2 . 発表標題<br>Invoice Currency Choice in Malawi ' s Imports from Asia: Any Evidence of Renminbi Internationalization?                 |
| 3 . 学会等名<br>4th International Conference on China ' s Rise and Internationalization: Challenges and Impacts Regionally and Globally |
| 4 . 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1 . 発表者名<br>Ong, Sheue Li, Kiyotaka Sato and Zhaoyong Zhang   |
| 2 . 発表標題<br>Uncertainty Effects of Chinese Renminbi on Asian Exchange Rate and Stock Return: A Bivariate GARCH-in-Mean VAR Analysis |
| 3 . 学会等名<br>4th International Conference on China ' s Rise and Internationalization: Challenges and Impacts Regionally and Globally |
| 4 . 発表年<br>2018年  |

|  |
|--|
| 1 . 発表者名<br>Ong, Sheue Li and Kiyotaka Sato  |
| 2 . 発表標題<br>" What Drives Asian Business Cycle Synchronization? Analysis of Cross-Country Spillover by the Dynamic Factor Model with Time-Varying Parameters " |
| 3 . 学会等名<br>Singapore Review Economic Conference 2017 ( 国際学会 )   |
| 4 . 発表年<br>2017年   |

|   |
|---|
| 1 . 発表者名<br>Hoang, Huong Le Thu and Kiyotaka Sato   |
| 2 . 発表標題<br>" Exchange Rate Pass-through in Production Chains: Application of Input-Output Analysis " |
| 3 . 学会等名<br>Singapore Review Economic Conference 2017 ( 国際学会 )  |
| 4 . 発表年<br>2017年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Sato, Kiyotaka and Shajuan Zhang  |
| 2. 発表標題<br>“ Exchange Rate Volatility, Exports and Global Value Chains ”                                     |
| 3. 学会等名<br>EEA-ESEM 2017, European Economic Association and European Meeting of Econometric Society ( 国際学会 ) |
| 4. 発表年<br>2017年  |

〔図書〕 計2件

|                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>清水 順子、伊藤 隆敏、鯉淵 賢、佐藤 清隆 | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>日経BP 日本経済新聞出版本部        | 5. 総ページ数<br>288 |
| 3. 書名<br>日本企業の為替リスク管理            |                 |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>Ito, Takatoshi, Satoshi Koibuchi, Kiyotaka Sato and Junko Shimizu   | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>Edward Elgar  | 5. 総ページ数<br>288 |
| 3. 書名<br>Managing Currency Risk: How Japanese Firms Choose Invoicing Currency |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                            | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                         | 備考 |
|-------|--|---|----|
| 研究分担者 | C・R Parsons<br><br>(Parsons Craig)<br><br>(10334616) | 横浜国立大学・大学院国際社会科学研究院・教授<br><br><br><br>(12701) |    |

6. 研究組織（つづき）

|                   | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                                  | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                              | 備考 |
|-------------------|--|--|----|
| 研究<br>分<br>担<br>者 | SHRESTHA N.P.<br><br>(Shrestha Nagendra)<br><br>(10647316) | 横浜国立大学・大学院国際社会科学研究院・准教授<br><br><br><br><br>(12701) |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

|  |                    |
|--|--------------------|
| 国際研究集会<br>RIETI-IWEP-CESSA Joint Workshop  | 開催年<br>2020年～2020年 |
| 国際研究集会<br>YNU-AMSE Joint Workshop on “Exchange Rate, Trade, and Productivity in Asia and the World”  | 開催年<br>2019年～2019年 |
| 国際研究集会<br>RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop on "Current Issues in the World Economy: Exchange Rate, Invoice Currency, Price Transmission and Localization" | 開催年<br>2019年～2019年 |
| 国際研究集会<br>RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop on Topics on International Finance: Exchange Rate and Currency   | 開催年<br>2018年～2018年 |
| 国際研究集会<br>4th International Conference on China's Rise and Internationalization: Challenges and Impacts Regionally and Globally                          | 開催年<br>2018年～2018年 |

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|         |         |